



共同参画

特集 「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体感しよう!～」を開催



無謀も歩けば道になる

日本には「トンネル現場に女性が入ると、山の女神さまが嫉妬して山が崩れる」との“言い伝え”があり強く信じられてきた。意欲満々で就職はしたものの、女性の私は現場経験のない技術者になっており、「この状況を何とかするのだ!」と、無謀過ぎると周囲から言われても、技術者としての実績を積むために、私は海外に飛び出した。最初はノルウェー、台湾、そしてインドへ。

インドの首都・デリーは、加速度的な経済成長の影響で車の数が増えて交通渋滞が激化、打開策として検討されたのがデリーメトロと言われる地下鉄の建設だ。現在、デリーメトロは、1日当たり約506万人もの人々が利用し、市民にとって重要な交通手段となっている。また、デリーメトロでは終日女性専用車両を設けており、各車両への防犯装置設置や、女性の車掌や警備員の配置などの工夫は、女性乗客や、送り出す家族の大きな安心感につながった。メトロは女性が安心して利用できる公共交通機関という評判が定着するようになり、女性の勤務地の選択肢、女性の移動の自由、活動範囲や社会進出に大きく貢献する結果となっている。

インドのインフラ事業の現場は、まだまだ女性が自由に働ける状況ではない事が多い。私は他国での業務実績を積んでいたことから働く機会を得ることができた。しかし、デリーメトロの最初のミーティングで自己紹介したときは「女性のエンジニアが来たあ」「俺たちの上司は女性だぞ」と大騒ぎになったのは記憶に新しい。あるインド人教授からの招きで大学講師の機会も得た。私が招かれたのは、日本の鉄道技術を紹介するためだと思っていたが、実は教授意図は他にあった。「マダム・アベは、大学卒業直後には、女性だからという理由で、希望する職業に就くことができなかった。でも30年経った今、彼女はインドの建設現場でマネージャーとして働いている。前進すれば未来は必ず開けることをインド人女子学生に見せてやってほしい。」インドでは、女性が学問として工学系を学ぶことには抵抗はないが、いざ建設業への就職となると家族の猛反対にあうことが多い。だから「インフラ事業整備が拡大し、それが女性の活動範囲を広げていく。そしてそのような事業に女性が進出している姿を示す。」それこそが私に期待されたことだったのだ。

誰かがもがきながらも壁を破って実績を積み、必ずあとに続く人は出てくる。最初は無謀と言われたとしても、歩き続けていくことが大切なのだ」と痛感している。



阿部玲子
Reiko Abe

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
執行役員
オリエンタルコンサルタンツインド現地法人
取締役会長



インド地下鉄の工事現場の安全講習会の様子、中央にいる女性が阿部氏

"Kyodo-sankaku"

共同参画

10

October 2023

Number 171

目次

Contents



今月号の表紙

「夏のリコチャレ2023」や「こども霞が関見学デー」の記事にちなみ、様々な理工系分野の職業で活躍する様子を表現しました。

Special Feature

特集1 Page.2

「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体感しよう!～」を開催

～女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援～

特集2 Page.4

G20女性活躍担当大臣会合

特集3 Page.6

2023 APEC 女性と経済フォーラム (WEF)

Topics

行政施策トピックス1 Page.8

「こども霞が関見学デー」実施報告 (男女共同参画局ブース)

行政施策トピックス2 Page.9

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」参加者の取組

行政施策トピックス3 Page.10

男女共同参画局の情報発信・広報活動

News & Information

ニュース&インフォメーション Page.12

「困ったら 一人で悩まず 行政相談」

～10月16日～22日は行政相談週間です～

ほか

公式Facebook



男女共同参画局 Facebook
<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku>



公式Twitter



男女共同参画局Twitter
<https://twitter.com/danjokyoku>



公式ホームページ



内閣府男女共同参画局
Gender Equality Bureau Cabinet Office
<https://www.gender.go.jp>



「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体 感しよう!～」を開催 ～女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援～

内閣府男女共同参画局推進課

内閣府は、文部科学省・一般社団法人日本経済団体連合会（以下：経団連）と共催で、2023年6月より夏休み期間を利用して、女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援するため、「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体感しよう!～」を実施しました。これは、経団連加盟企業や大学等による主に女子中高生を対象とした理工系の職場見学、仕事体験、施設見学など多彩なイベントの情報を内閣府「理工チャレンジ（リコチャレ）」サイトを活用し、積極的に社会へ発信する取組です。

今年は96団体が参加しました。企業や学術団体等のイベントや、大学の実験教室、先輩学生との交流会等のイベントが対面やオンラインにより、全国各地で実施され、今年度は4千名以上（集計中）の女子小中高生、大学生、保護者等が参加しました。

1. 理工系分野における女性活躍の現状

本格的な人口減少社会を迎える中、理工系分野における女性の活躍は、世界最先端の科学技術立国を目指す我が国が、持続的な成長を確保し、さらに、多様性によるイノベーションの創出によって社会の様々な問題解決を図る上で、極めて重要です。しかしながら、我が国における女性研究者の割合は17.8%※1と、諸外国に比べて低い水準に留まっています。また、大学学部生における女性比率も、理学系で27.8%※2、工学系で15.8%※2と大きな偏りが見られます。

これに関し、内閣府が令和3年度に実施した調査研究において、幼少期から体験やイベント等を通じた理工系分野への興味を深める機会の創出や、理工系分野への進学・職業イメージなどについて、幅広く具体的な情報提供を行うこと等が有効であるとの調査結果が得られました。この結果も踏まえ、内閣府では、理工系の職業や面白さに触れることができる機

会を提供することで、女子生徒等の理工系分野への進路選択や理工系職業に対する理解の促進と興味の喚起を図り、次代を担う理工系女性人材の育成を目指すこととしています。

※1 総務省「科学技術研究調査」（令和4年）参照

※2 文部科学省「令和4年度学校基本調査」参照

2. 開催実績

■開催期間：2023年6月～9月

■実施団体数・イベント数・参加者数

合計：96団体、161イベント、4千名以上（集計中）

<実施団体内訳>

企業：47、大学等：19、

学術団体・その他：30

■主なイベント内容

<企業>

・職場見学、工場見学

・職業体験、ワークショップ、実験

・先輩女性社員との交流

等

<大学>

・実験教室

・サマースクール、サイエンスキャンプ

・シンポジウム、セミナー

・女子学生質問会、オープンキャンパス等

<学術団体、その他>

・実験教室、体験学習

・1日インターンシップ

・シンポジウム、交流会

等

今年度は実地でのイベントも多く行われ、オンラインと実地のハイブリッド開催の企画も実施されました。各団体がイベント形式に合わせた様々な工夫をされていました。

3. 参加者の声

「昔からの夢に向かって挑戦する姿や、家庭との両立の実現など今後の参考になる話を聞けて良かった。」

「理系の進路は研究職だけでなく、幅広い選択肢があるということを知ることができた。」

「得意な科目で理系を選ぶわけではなく、好きなことを優先していいと知って肩の力が抜けた」

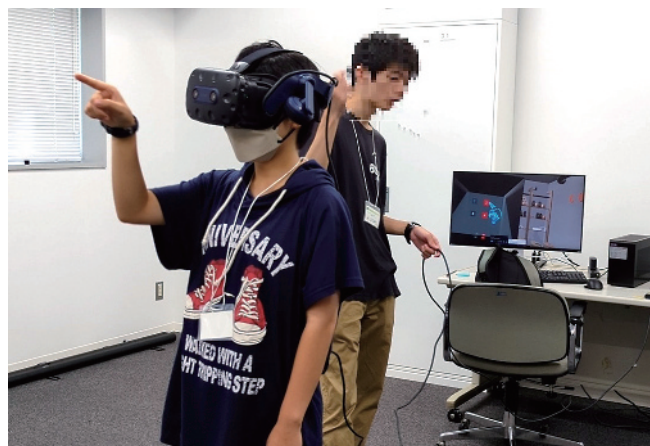
「普段できないことを体験し、当たり前だと思っていたことが当たり前ではないことに気づくことができた。」

「大学について生の声を聞くことができ、今後の進路選択に活かせそうです。とても貴重な機会をいただけて本当に良かったです。」

「女性社員だから…ということではなく、チームや仲間として、他の社員と関わっていけることを知りました。」

「(保護者からの声) 自分も数学が若手で娘の理系進学は無理だと思っていたので、進路選択前にこういう話を開けるのはとても良いと思った。」

【夏のリコチャレ2023 イベントの様子】



電気通信大学匠ガールプロジェクト「夏休みは電通大でラボ体験2023」
(電気通信大学)



建設技術の最先端を体験しよう！
(株式会社大林組)



クラウドで「作って」みよう！ 一日 IT エンジニア体験 (Advancedコース)
(Amazon 夏のリコチャレ実行委員会)

「夏のリコチャレ2023」の詳細は
下記リンク先をご覧ください。

URL

[https://www.gender.go.jp/c-challenge/
event/2023/summer.html](https://www.gender.go.jp/c-challenge/event/2023/summer.html)



Special
Feature 2

G20女性活躍担当大臣会合

令和5年8月2日～4日、3回目となるG20女性活躍担当大臣会合がインド・カンディナガルにて開催され、小倉将信女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)が参加しました。「世代間変革を先導する女性主導の包摂的な開発」を全体のテーマに、以下9つのテーマ別セッションにて女性活躍が議論され、小倉大臣はセッション4に登壇しました。

●主要テーマ:

「世代間変革を先導する女性主導の包摂的な開発」(Women led Inclusive Development as Cusp of Inter-Generational Transformation)

●セッションテーマ:

- ①教育、女性のエンパワーメントへの道を変えるもの
(Education, a Game-changing Pathway to Women's Empowerment)
- ②女性のエンパワーメントのためのデジタルスキル (Digital Skilling for Women's Empowerment)
- ③教育とSTEM (Education and STEM)
- ④女性のリスキリング (Skilling Opportunities for Women)
- ⑤新技術における女性 (Women in Emerging Technologies)
- ⑥女性と宇宙 (Women and Space)
- ⑦草の根レベルでの女性のリーダーシップ促進に向けたパートナーシップ (Partnership for Promoting Leadership at Grassroots)
- ⑧気候強靱化行動 (Climate Resilience Action)
- ⑨文化の力と女性のエンパワーメント (Power of Culture and Women's Empowerment)



会合の様子

小倉大臣の発言のポイント

小倉大臣はステートメント冒頭でロシアのウクライナ侵略について強く非難した上で、以下のとおり日本の男女共同参画の現状と取組を発信しました。

○2020年に始まった新型コロナウイルス感染拡大により、多くの女性が仕事を失い、女性の経済的基盤の脆弱性が浮き彫りになった。

同時に無償・有償を問わずケア労働は私たちの社会で重要な役割を果たしていること、女性に不均等に負担等を強いるケア労働が女性の経済的自立の障壁となっていることを再認識。

○本年6月、我が国が議長国を務めた「栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」においては、コロナ禍における教訓を踏まえ、今後の女性の経済的自立の実現に向けた取組等について議論を行い、「日光声明」を取りまとめた。

○女性役員比率の引上げ、また経済分野における女性のリーダーシップを拡大するため、「女性版骨太の方針2023年」において、プライム市場上場企業に対し2023年までに女性役員比率を30%以上に引き上げるよう数値目標を設定し、目標達成のための行動計画の策定を推奨している。

○女性のリスキリング支援として、「女性デジタル人材育成プラン」に基づきデジタルスキル向上と比較的高賃金の見込めるデジタル分野への就労支援を実施している。

○女性の子育て・仕事の両立支援のため、保育の受け皿確保に重点的に取り組み、女性の就業者数は2012年に比べ370万人近く増加。

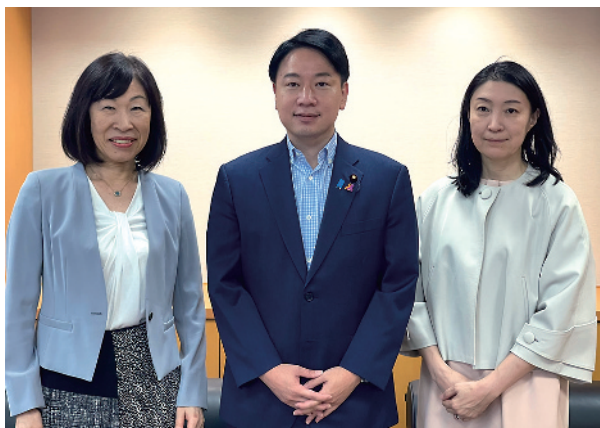
男性の育休取得促進に向け、育休取得時の手取り10割を保証する等、制度面と給付面双方からの対応を抜本的に強化する。

○女性の起業促進に向け、政府主導の起業家支援事業における女性比率を20%に増やすほか、支援ネットワークの強化、女性キャピタリストを採用する民間ファンドや女性起業家に積極的に投資する方針の民間ファンドへのJICによる投資を促進する。

○「意思決定層への女性の参画」に関し、G20大阪サミットで立ち上げられ重要な役割を果たしている(※)G20 EMPOWERのこれまでの活動に敬意を表するとともに、来年以降もEMPOWERの活動が継続されることを強く支持する。

(※) G20 EMPOWERとは

令和元年6月のG20大阪サミットで立ち上げられた民間セクターのアライアンスであり、企業における意思決定層への女性の参画拡大を目指し、G20各国の民間セクター代表が自発的・自律的なネットワークを構築し、好事例の共有や政府への政策提言を行っています。日本の代表は、アキレス美知子 SAPジャパン株式会社人事戦略特別顧問、塚原月子 株式会社カレイディスト代表取締役のお2人で、日本は副議長国を務めています。



面会の様子

令和5年7月21日、小倉大臣とG20 EMPOWER日本代表が面会をし、G20 EMPOWERの活動内容が報告されました。また、G20女性活躍担当大臣会合に向けて、企業における意思決定層への女性の参画の拡大について意見交換を行いました。

議長声明のポイント

会合終了後に公表された議長声明においても、以下の点における重要性などが指摘されました。

○女性のSTEM分野への参画、特に男女間のデジタル格差の解消に向けた教育の重要性を再認識し、安価で包括的、安全な教育へのアクセスの改善、ジェンダーに対応した教員研修等を行う。

○女性の起業を妨げる既存の男女格差と課題を解決するため、ネットワーキングやメンターシップの機会を含む能力開発を促進する。

○適切な公共政策の立案や女性の権利団体の支援等を通じ、草の根レベルでのリーダーシップ、意思決定への参加を制限する構造的障壁を取り除く。

○気候変動対策において女性が参画する重要性を認識し、政策決定への参加、リーダーシップを促進する。

この他、小倉大臣は現地にて各国要人等とバイ会談を行うとともに、デリーにおいて、地下鉄における女性に対する暴力の防止に関する取組の視察、現地で活躍する女性邦人（阿部玲子 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人 代表取締役会長、池田恵理 インド工科大学デリー校経営管理学部助教、田中美樹子 国連アジア太平洋経済社会委員会 南・南西アジア事務所所長）との意見交換を行いました。



各国G20 EMPOWER代表との面会の様子

会合の詳細や議長声明の全文は、
下記に掲載しています。

URL

https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_g20/meeting_202308.html



2023 APEC 女性と経済フォーラム (WEF)

内閣府男女共同参画局総務課

Special
Feature 3

2023 APEC 女性と経済フォーラム(WEF)について

令和5年8月20日、APEC「女性と経済フォーラム」ハイレベル政策対話（閣僚級）が、米国（シアトル）にて開催され、日本からは、小倉将信女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画）が参加しました。

今回の会合では、「アジア太平洋地域における一層の統合と女性活躍及び指導的地位へのアクセスの確立 (Ensuring the greater integration and empowerment of women in the Asia Pacific region and women's access to leadership positions)」をテーマに議論が行われました。

現地で登壇した小倉大臣は以下について発信しました。

- ロシアによるウクライナへの侵略は明確かつ深刻な国際法違反であり、女性や女児を始め、ウクライナ国民に深刻な被害を及ぼすとともに世界中の人々の生活に悪影響を与えている。我々はウクライナやウクライナの人々とともにあることを改めて表明する。
- 様々な課題により適切に対応し、ジェンダーの視点を組み込むためには、社会のあらゆる分野で女性のリーダーシップをさらに拡大することが重要である。日本では、今年6月、2030年までにプライム市場上場企業の女性役員比率を30%以上とする数値目標を定めた。政府としても、リスクリングの機会の充実や女性リーダーの育成に向けた研修プログラムの提供など、企業の取組を支援する。
- 女性のリーダーシップ拡大のためには、女性の無償労働の負担軽減が重要である。性別に関わらず育児休暇の取得促進を図っていく。また、企業の労働慣行の見直しを促進し、多様で柔軟な働き方を推進していく。



ハイレベル政策対話の様子 (写真：APEC公式ウェブサイトより)

このフォーラムの成果として、議長の米国から、

- ① ケア・インフラの構築 (Building Care Infrastructure)
 - ② 男女間のデジタル格差の解消 (Closing the Gender Digital Divide)
 - ③ 気候変動の取組におけるジェンダー平等の推進 (Advancing Gender Equality in Efforts to Address Climate Change)
 - ④ グローバルバリューチェーンにおけるジェンダー平等の促進 (Promoting Gender Equality in Global Value Chains)
- を主な内容とする議長声明が発出されました。

声明は、我々は、次回2024年のペルー主催によるAPEC「女性と経済フォーラム」及び関連活動に期待していると締めくくられました。

会合の詳細や議長声明の全文は、
下記に掲載しています。

URL

https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_apec/wef2023.html



また、今回のAPECでは、「女性と経済フォーラム」ハイレベル政策対話と中小企業担当大臣会合の合同会合が開催されました。

日本からは、小倉大臣と里見隆治経済産業大臣政務官が参加し、Eコマースを通じた女性の起業促進に関するセッションで我が国の取組を紹介しました。



中小企業大臣会合との合同会合 (写真：APEC公式ウェブサイトより)

日米韓三カ国会議について

「女性と経済フォーラム」にあわせて、小倉大臣は、ジェニファー・クレイン 米国大統領補佐官及びソ・ウンジ 在シアトル韓国総領事と女性の経済的自立に関する三カ国会議を行いました。会議のテーマは次のとおりです。

○女性の経済安全保障を推進する国内外の取組 (Efforts to Advance Women's Economic Security at home and abroad)

○宇宙分野を含むSTEM分野における女性・女児の活躍推進への取組 (Efforts to Advance Women and Girls in STEM, Including in the Space Sector)

○家事・介護のインフラ整備の推進
(Advancing Domestic Care Infrastructure)

○2024年の三カ国会議に向けた協力の機会と計画
(Opportunities for Collaboration and Planning for 2024 Trilateral Conference)

会議を通じて、小倉大臣は、日米韓の三カ国は、共通の目的に向かって取り組んでおり、経験を持ち寄り、議論を深めることは、アジア・太平洋地域のジェンダー平等、女性・女児のエンパワーメントにとって大きな意味があると話しました。



日米韓三カ国会議

バイ会談について

小倉大臣は、ペルーのトレンティーノ大臣、パプアニューギニア独立国のピーター大臣、マレーシアのナンシー・シュクリ大臣など各国要人とバイ会談等を行いました。

小倉大臣は、我が国が議長国を務める今年のG7において、サミット及び各閣僚会合でジェンダーの視点を取り入れた議論が行われたこと、6月に開催したG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合では、会合の成果を「日光声明」として取りまとめたことを説明しました。その上で、ジェンダー平等及び・女性・女児のエンパワーメントは世界的な課題であり、G7のみで実現すればよいものではなく、G7以外の国や国際機関・NGO等、幅広い主体が連携することが必要と考えていくことを話しました。

「こども霞が関見学デー」実施報告(男女共同参画局ブース)

内閣府男女共同参画局推進課

2023年8月2日と3日の2日間にわたって、親子のふれあいを深め、こどもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的に、文部科学省を中心に各府省庁等が参加して「こども霞が関見学デー」を実施しました。

男女共同参画局のブースでは、“求む! 未来の理工系女子!”と題して、女子生徒等の理工系進路選択を支援する「理工チャレンジ(リコチャレ)」の取組や、先輩の女性技術者・研究者からのメッセージを展示するとともに、プログラミングの体験教室を開催しました。

体験教室では、リコチャレ応援団体の株式会社エスワイシ

ステム様のご協力の下、スマートフォンとパソコンを使用してBOT(ボット)をプログラミングしました。

こどもたちは、自分がパソコンに入力した内容がうまく作動してスマートフォンに表示されると、とてもうれしそうな様子で、講師の先生方にも積極的に質問する様子が見受けられました。

参加したこどもたちに感想を聞いたところ、「お母さんのしている仕事に興味が湧いた」や「パズルみたいでまたやってみたい」といった前向きなコメントをいただきました。

このブースには、2日間で約70名のこどもたちに参加いただきました。



こども霞が関見学デー当日の様子①



こども霞が関見学デー当日の様子②

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」参加者の取組

「男性リーダーの会」には、女性活躍の推進にコミットする企業経営者等や知事・市町村長約310名が参加しています。そのうち、2名の男性リーダーの取組を紹介します。（氏名五十音順）

内閣府男女共同参画局総務課

D&Iの“質”の重視への変革を目指す大阪大学

西尾 章治郎

国立大学法人大阪大学
総長



多様性は社会に新価値を創造するための源泉であり、大阪大学が目指す「生きがいを育む社会の創造」は、多様性を包摂する社会の実現に他なりません。その考えのもと、本学は2021年9月に「大阪大学ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進宣言」を公表しました。

本学では、多様性の包摂の阻害要因となっているアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とした全構成員必修のe-learning研修や、D&Iについてあらゆる側面から学べる全学共通教育科目を開講するなど、構成員の意識改革に強力に取り組んでいます。

また、D&IにEquity（公正性）を加えたDE&Iの重要性を社会に広めるべく、本学の強みとする産学共創ネットワークを活かして「DE&Iコンソーシアム・ハンドイ」を組織し、企業と連携して女性研究者のリカレント教育やすそ野拡大を鋭意図っています。

私自身も、博士課程に進学する女子学生の研究成果表彰制度の創設や、国際女性デー・万博関連イベントにアカデミアの代表として登壇し、教育研究分野での女性活躍推進を提言するなど、学内外に向けてD&Iの重要性について積極的な発信を続けています。

今後は、女性研究者数や割合等だけでなくD&Iの“質”も高めるべく、社会的公正や人権尊重に注力した「DE&I実装キャンパス」を実現し、日本社会を先導してまいります。



女子大学院生
優秀研究賞の表彰式

一人ひとりが生き活きと働く会社を目指して

松下 芳弘

日新電機株式会社
代表取締役社長



当社は1917年の創立以降、100年を超える歴史の中で電力エネルギーや半導体製造関連設備を中心とした事業を展開しています。

現在は2050年に向け、「多様な価値観が尊重され、チャレンジ意欲を持った活動ができる環境のもと、一人ひとりが社会に貢献している事を実感でき、確かな技術力で持続可能な未来を創造する企業グループ」を目指し、「日新一新」の合言葉のもと、ひと・組織・事業の変革に取り組んでいます。

ひとの面では、男女共に働きやすい環境の実現を目指し、2022年度の男性育休取得率55.4%、平均取得期間35.6日、一定期間離職する女性育休取得者にはキャリア形成を目的にキャリアサポート面談も実施する等、育休取得への職場や上司の理解促進にも努めています。そうした取り組みが認められ、「えるぼし2つ星」「プラチナくるみん」も取得しています。2023年度には、「女性が働く上での可能性を広げ、広くネットワークを作る」ことを目的に「日新一新フォーラム」をスタートし、初回は女性社員を対象に、アンコンシャスバイアスをテーマに取り上げました。

こうした様々な取り組みを通じて、多様性を認め合う企業文化を醸成し、一人ひとりが生き活きと働く会社作りに取り組んで参ります。



2023年8月開催
第一回日新一新フォーラム



「男性リーダーの会」について、
詳しくはこちら。

URL

https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html



男女共同参画局の情報発信・広報活動

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画社会の実現に向けて、また、局の活動状況や取組について、情報発信・広報活動を実施しています。

男女共同参画局総務課

公式ホームページ

男女共同参画に関する理解を増進するため、男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等、幅広い情報を掲載しています。



広報誌

男女共同参画に関する情報発信のため、広報誌「共同参画」を編集・発行しています。（年11回発行）

各省庁、地方自治体（男女センター、公立図書館を含む）、有識者、関係団体や企業、報道関係などに紙冊子で配布するほか、男女共同参画局公式ホームページ上に電子媒体で掲載しており、どなたでも閲覧することが可能です。



SNS 公式アカウント

各SNS公式アカウントでは、最新の施策、関連情報を随時アップしておりますので、ぜひ、ご登録の上、ご覧ください。

・Facebook



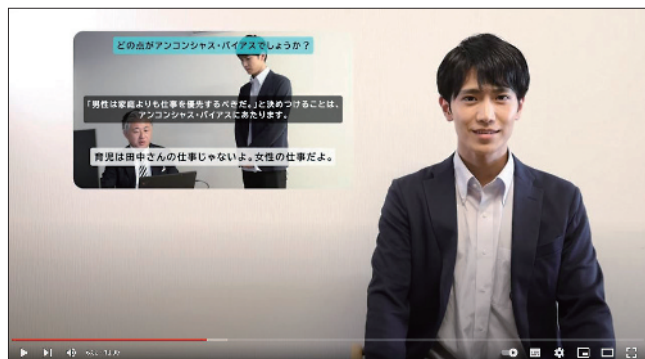
APEC女性と経済フォーラム開催時の投稿

・X(旧 Twitter)



夏のリコチャレ2023特設サイト案内時の投稿

・YouTube



性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた普及啓発用動画

男女共同参画に関するフリーイラスト素材

性別による固定的役割分担や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消の一助とするため、誰もが簡単に利用できる、様々な「職業」や「社会生活場面」を想定したイラストを作成し、提供しています。

イラスト素材は、個人や法人等問わず、どなたでも無料でダウンロードでき、「社会生活の場面」で活用いただくことができますので、ぜひ、ご活用ください。

・職業



01_1土木技術者女性



01_1土木技術者男性

・社会性格場面



24_1炊事女性



24_1炊事男性

その他、男女共同参画局メールマガジンの配信など、様々な方法で情報発信・広報活動を実施しています。

ご紹介したものは、男女共同参画局公式ホームページから確認することができますので、ぜひ、ご覧ください。

内閣府男女共同参画局
公式ホームページはこちら。

URL <https://www.gender.go.jp/>



広報誌「共同参画」の
バックナンバーはこちら。

URL <https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/index.html>



男女共同参画局
公式Facebookはこちら。

URL <https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>



男女共同参画局
公式X(旧Twitter)はこちら。

URL <https://twitter.com/danjokyoku>



男女共同参画局
公式YouTubeはこちら。

URL https://www.youtube.com/channel/UCeJ_mPdtAoJnTFXbuDnbjfQ



男女共同参画に関する
フリーイラスト素材の使用はこちら。

URL https://www.gender.go.jp/about_danjo/symbol/free/manual.html



男女共同参画局メールマガジンの
バックナンバーはこちら。

URL <https://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>



News & Information

News 1

総務省

「困ったら 一人で悩まず 行政相談」
ー10月16日～22日は行政相談週間ですー

総務省は、毎年10月に「行政相談週間」を設け、行政相談の活動や行政相談をもっと知っていただくための広報活動を重点的に実施しています。

今年は、全国159か所で「一日合同行政相談所」を開設します。地域のボランティアの行政相談委員や、法務局、国税局、労働局などの国の機関、地方公共団体、各種士業団体などが一堂に会して、皆さまからの行政に関する様々な相談をお待ちしています。

行政相談は、年金や道路、雇用、役所の手続に関することなど、幅広く相談を受け付け、解決を図ります。また、孤独・孤立に悩む方や外国人の方など、お困り事を抱えたような方からも受け付けます。相談は無料で、秘密は固く守ります。この機会に、「行政相談」をぜひご利用ください。

詳細は、こちらをご覧ください。

URL https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/soudan_n/shukan.html



News 2

厚生労働省

テレワーク・セミナー開催のお知らせ

厚生労働省では、10月30日(月)に「テレワーク・セミナー(第3回)」をオンラインで開催します。(全8回、参加費無料)

テレワークは、ICTを活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方です。

このセミナーでは、テレワーク実施時の労務管理上の留意点、ICT活用方法と留意点、導入企業の体験談などテレワークに必要な情報を説明します。

セミナー終了後に、労務管理面やICT面で企業が抱える個別具体的な課題などについて、セミナー講師が直接アドバイスする「個別相談会」も実施します。(希望者のみ・事前申し込み制)

テレワークの活用を検討中の企業経営者や、人事労務担当者の皆様はぜひご参加ください。

■開催日時

10月30日(月) 13:30～15:30 定員200名

申込や詳細、今後のスケジュールはこちらをご覧ください。
テレワーク総合ポータルサイト

URL <https://telework.mhlw.go.jp/support/seminar/>



Info 1

厚生労働省

「母性健康管理研修会」を開催します！

厚生労働省は、「母性健康管理研修会」をオンラインで開催します。【事前申込制・参加費無料】

女性労働者が妊娠・出産期を迎えても安心して働き続けられるようにするためには、企業において、男女雇用機会均等法や労働基準法に基づく母性健康管理や母性保護が適切に実施されることが重要です。研修会では、専門家（産婦人科医・社会保険労務士等）が、母性健康管理等に関する法律、制度や具体例を元に説明します。人事労務担当者、産業保健スタッフ、産婦人科医などの皆様、ぜひご参加ください。

開催日時

令和5年10月19日（木）、11月22日（水）、
12月5日（火）いずれも14:00～16:00（講義は各回共通）



本研修会は厚生労働省より委託を受け、一般財団法人女性労働協会が開催しています。

「母性健康管理」を正しく理解するために

事業主・人事労務担当者・産業医・産業保健スタッフ・産婦人科医の皆さまへ

母性健康管理研修会

働きながら、安心して妊娠・出産できる職場づくりのために

point 1 関係する法律制度をわかりやすく解説！

point 2 妊娠によるからだの変化と会社の配慮を紹介！

point 3 事前質問に対して講師が対話で解説！

女性労働者が妊娠・出産期を迎えても安心して働き続けられるようにするためには、男女雇用機会均等法や労働基準法に基づく母性健康管理や母性保護が適切に実施されることが重要です。

この研修会では、会社が妊娠中・出産後の女性労働者へ適切に配慮し対応策を助けるように、母性健康管理に関する法律、制度や具体例を元に専門家が解説します。

第1部 「法に基づく母性健康管理措置・母性保護について」
厚生労働省 雇用政策・労務局 雇用政策企画課

第2部 「妊娠中・出産後の女性労働者の体調管理の留意点」
中央 産人 日本産科婦人科学会専門医（産婦人科） 日本産科婦人科学会産科専門医（産婦人科） 日本産科婦人科学会産科専門医（産婦人科）
長井 聡子 日本産科婦人科学会専門医（産婦人科） 株式会社AMOKU（代表取締役）
小畑 孝子 日本産科婦人科学会専門医（産婦人科） 株式会社ニッパ（代表取締役）
日本産科婦人科学会専門医（産婦人科） 日本産科婦人科学会専門医（産婦人科）

第3部 「妊娠・出産期の女性が安心・安全に働くことができる職場環境づくりのポイント～企業に求められる対応～」
藤田 直子 社会保険労務士 株式会社リンクス人業コンサルティング

参加費 無料

研修方法 オンライン配信（Zoomによるオンライン配信予定）各回 14:00～16:00
ご参加にはインターネットに接続できるパソコン環境が必要です。接続方法はこちらをご覧ください。

参加対象 事業主・人事労務担当者、産業医・産業保健スタッフ、産婦人科医の皆さま

研修日程 各希望の参加回をお選びください。
プロフィールは各回共通です。ご都合に合わせて参加回をお選びいただけます。

第1回	10月19日（木）	第2回	11月22日（水）	第3回	12月5日（火）
-----	-----------	-----	-----------	-----	----------

お申込み メール、FAXまたは専用サイトの申込フォームからお申込みください。詳しくは裏面をご参照ください。
お問い合わせ：一般財団法人 女性労働協会（e-mail: kenshu-navi@fawork.or.jp）

研修内容・参加申込等はこちらをご覧ください。
「働く女性の心とからだの応援サイト」

URL <https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/kenshu/>



Info 2

厚生労働省

不妊治療と仕事との両立支援担当者向け研修会を配信中です！

厚生労働省では、「不妊治療と仕事との両立支援担当者向け研修会」をオンラインで配信しています。【視聴無料】

研修会では、厚生労働省をはじめ、産婦人科医、社会保険労務士、不妊治療と仕事を両立している方を支援するコンサルタント等の専門家から、不妊治療の実態や企業が不妊治療と仕事との両立支援制度を導入・運用するための具体的なノウハウなどを説明します。

これから不妊治療と仕事との両立を支援する制度を導入しようとしている企業はもちろん、既に制度を導入し、より良い運用を検討している企業にも参考になる内容ですので、人事労務担当者、産業保健スタッフなどの皆様、ぜひご視聴ください。



研修内容・視聴申し込み等はこちらをご覧ください。

URL ※現在は使用されていません

今月は「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体感しよう!～」や「こども震が関見学デー」について取り上げさせていただきました。

わたし自身も高校では理系を選択しましたが、クラスで少数派になってしまうこともあり、選択する前は不安な気持ちになったことを覚えています。それぞれのイベントへ参加したこともたちの感想を読みましたが、実際に、理工系分野を学んでいる方や仕事にしている方とイベントを通じて出会うことで、不安や疑問を払拭する機会となり、進路を考える際の視野を大きくひろげることに繋がっているなと感じました。

こうしたイベントに限らず、男女共同参画局のホームページ内のリコチャレのページでは、先輩からのメッセージや動画をみることができますので、詳しくは、「リコチャレ」と検索してみてください!動画は公式YouTubeから視聴も可能です!

【編集員 W】

Kyodo-Sankaku

月刊総合情報誌
「共同参画」10月号

<https://www.gender.go.jp>

<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku>

第171号
編集・発行 2023年10月10日発行
内閣府

〒100-8914
東京都千代田区
永田町1-6-1
内閣府男女共同参画局
総務課

電話 03-5253-2111（代）
印刷 株式会社丸井文社
表紙デザイン 株式会社パットンファイブ

困ったら一人で悩まず

行政相談



行政相談マスコット
キクーン

行政に関するご相談、
何でもお寄せください。



医療保険
年金



道路など
公共施設



社会福祉



役所の手続き

電話でも! ネットでも!!

ご相談は、下記の番号まで。または、お近くの行政相談委員へ。
メール相談・オンライン相談も受け付けています。

総務省行政相談センター

まぐみみ

全国共通番号

お こまり なら まる まる くじょー ひゃくとおばん

0570-090110

行政相談受付



相談無料・秘密厳守

10月を中心に、全国各地で
一日合同行政相談所を開設します!

男女共同参画に関する施策・制度についてのご相談も受け付けています。詳しい情報は総務省ホームページへ

1270

総務省・各府省行政苦情相談連絡協議会



総務省